

公開テンプレート、お試し環境等 のご説明

2024年2月29日

大江 和一

国立情報学研究所
クラウド基盤研究開発センター

公開テンプレート

Jupyter Notebook 公開テンプレート

- LMSテンプレート (VCP SDK v20.04以降対応 (AWS、Azureで動作確認済み))
 - Moodleを用いた学習管理システムの構築テンプレート。パスワード認証、Shibboleth認証を利用したMoodleの構築とアップデート手順
- LMSテンプレート簡易構成版 (VCP SDK v20.04以降対応 (AWS、Azureで動作確認済み))
 - 上記LMSテンプレートより機能を絞ったシンプルな構成のMoodle環境の構築テンプレート。認証は手動設定アカウントかLDAP連携を用いた短期的な利用を想定。Shibboleth等のSSO連携や長期利用はカスタマイズが必要。また、VCPを利用せずにAWSまたはAzureに直接LMS環境を構築する手順も公開
 - 新規リリース情報
 - デフォルトのコンテナイメージをMoodle 4.1(LTS)に変更
 - Shibboleth認証に対応

Jupyter Notebook 公開テンプレート(続)

- HPCテンプレート v1 (VCP SDK v20.04以降対応 (AWS、Azureで動作確認済み))
 - OpenHPC v1.xで配布されているパッケージを利用して、クラウド上にHPC環境を構築するテンプレート。Slurmを利用したジョブスケジューラやSingularityコンテナ利用環境の設定と、構築したHPC環境で動作可能なベンチマークプログラムも提供
- HPCテンプレート v2 (VCP SDK v21.04対応 (AWS、Azure、Oracle Cloud、mdx で動作確認済み))
 - OpenHPC v2.xで配布されているパッケージを利用して、クラウド上にHPC環境を構築するテンプレート。v1 の機能に加え、GPUノードの利用とNVIDIA社のNGCカタログのコンテナの実行が可能
 - 新規リリース情報
 - 計算ノードのスケールアウト／イン対応

Jupyter Notebook 公開テンプレート(続)

- 講義演習環境テンプレート (VCP SDK v21.04以降対応 (AWS、Azure、mdxで動作確認済み))
 - Jupyter Notebookを用いた講義演習環境の構築。基盤ソフトウェアには、JupyterHubを講義演習用に NII が拡張したCoursewareHubを使用。教材配布、課題の回答収集、操作履歴の収集等の機能を拡張
 - 新規リリース情報
 - タイマーによるワーカーノード(学生コンテナ用計算機)の縮退運用に対応
 - 授業がないときは、不要なワーカーノードの電源オフが可能
- 計算資源補完テンプレート (VCP SDK v20.04以降対応 (AWS、Azureで動作確認済み))
 - オンプレミスのバッチ型計算機システムの計算ノード不足時に、クラウド上に同じソフトウェア構成を持つ計算ノードを自動的に立ち上げ、バッチシステムに組み込むクラウドバースト機能を提供。Torque等クラウドに対応していないバッチシステムでも、簡単なプラグインを作成することでクラウドバーストが可能。なお、本テンプレートはipynb形式ではなく、Pythonならびにbashスクリプトで記述されている
 - 新規リリース情報
 - mdx対応マージ済み

Jupyter Notebook 公開テンプレート(続)

- 手書き文字認識システム構築テンプレート (VCP SDK v21.04以降対応 (AWS、Azureで動作確認済み)) **NEW**
 - Open HPC v2テンプレートをベースにGPU ベースの学習システム(Tensorflowを使用)の構築とCPUベースの認識システム(独自仕様)の構築を行い、フロントエンドとしてJupyterNotebook上に手書き数字認識システムを動作させる
- 軽量Python実習環境構築テンプレート (VCP SDK v20.04以降対応 (AWS、Azure、mdxで動作確認済み)) **NEW**
 - Pythonによるプログラムの共同開発や講義演習などを行うのに適したJupyterHubの中で小規模グループ用である「The Littlest JupyterHub」の環境構築をおこなう

Jupyter Notebook 公開テンプレート(続)

- Open OnDemand構築テンプレート (VCP SDK v21.04以降対応 (mdxで動作確認済み)) **NEW**
- HPCテンプレートv2で構築したOpenHPC環境上にOpen OnDemand環境を構築する

URL: <https://github.com/nii-gakunin-cloud/ocs-templates/>

お試し環境

お試し環境

- 希望者に2024/3/4(月) 11:00より2024/3/29(金) 17:00までOCSを試用出来る環境を提供致します。利用申し込みは、3/1(金) 17:00まで受け付けます。
- お試し環境の利用にあたり以下の制約がございます
 - 対象: **大学・研究機関等の方で本日のハンズオン(実習)にご参加された方**
 - 使用目的: 本セミナー内容の確認や機関内活用のための調査を目的に利用願います
- サポートするJupyter Notebook
 - 以下のGitHub pageに記載された内容
 - <https://github.com/nii-gakunin-cloud/handson/tree/master/Basic-Tutorials/hanson202402-vcp>

本日、ハンズオン実習で使用したJupyter Notebookです！

申し込み方法は、対象者*全員に
Zoomのチャットにてご連絡致します。
Slackによるサポートを予定しており、
そこへの連絡方法もご案内いたします。

***: 大学・研究機関等の方で本日のハンズオン（実習）にご参加された方**

来年度のハンズオン等のスケジュール(計画)

■ ハンズオン開催予定

■ 2024年9月頃

- 北海道大学CloudWeek内での開催を検討中

■ 2025年3月頃

- 大学等におけるクラウドサービス利用シンポジウム2025で開催を検討中

■ その他イベント

- Web型プログラミング演習システム構築・運用を行うOCSテンプレートを山口大学と共同で研究開発しており、来年度一般公開予定です。この演習システムは、Moodleとの連携、課題の配布と提出、自動採点とフィードバックなどの機能を備えています。その利用説明会、及びハンズオンセミナーの開催を予定しております。詳細は別途広報致します。なお、山口大学との共同研究内容に関しましては、AXIES2023で講演した以下の論文を参照してください。

- Web 型プログラミング教育システムの一般公開に向けた改修
- Web 型プログラミング演習環境のハイブリットクラウド運用に向けた調査、及びOCS テンプレート開発

■ Webページ (利用詳細はこちらへ)

- <https://cloud.gakunin.jp/ocs/>

■ 公開テンプレート

- <https://github.com/nii-gakunin-cloud/ocs-templates/>

■ チュートリアル (過去のハンズオン教材)

- <https://github.com/nii-gakunin-cloud/handson/>

- <https://nii-gakunin-cloud.github.io/handson/> (自習用、一部教材のみ)

■ ポータブル版のGitHub URL

- <https://github.com/nii-gakunin-cloud/ocs-vcp-portable>

■ 拡張ライブラリ(mdx REST APIを操作するライブラリ)のGitHub URL

- <https://github.com/nii-gakunin-cloud/mdx-rest-client-python>

よろしければ、OCSユーザ登録をお願い致します！

OCSユーザ登録フォーム / OCS User Registration Form

OCSは、クラウドやネットワークに関する知識や設定方法を熟知していないユーザでも研究教育用のアプリケーション環境を主要なクラウドでオンデマンドに容易に再現できるサービスです。国立情報学研究所では、OCSの管理システムプログラムをOCSポータブル版として公開しています。ポータブル版をご利用される場合は、以下よりユーザ登録をお願いいたします。ユーザ登録していただくと、ユーザ用メーリングリストに登録され、OCSに関するリリース、バグフィックス情報、FAQのご紹介等の情報提供をさせていただきます。

OCS is a service that allows users to easily build a research and educational application environment on demand in major clouds, even if the users are not familiar with cloud computing and networking configuration methods. The National Institute of Informatics has released the OCS management system program as the OCS portable version. To use the portable version, please register using the form below. You can subscribe to the OCS user mailing list to receive information such as releases, bug fixes, FAQs, etc.

下記の必要事項をご入力ください。

※メールアドレスは、所属機関ドメイン名のメールアドレスをご入力ください。

Please enter the required information below.

* Please enter the e-mail address of your institution domain name.

* の項目は必ずご入力ください。The fields marked by * must be filled.

お名前 / Full Name*	<input type="text"/> 例) 学認 クラウド / e.g. Gakunin Cloud
ふりがな / Last Name*	<input type="text"/> 例) がくにん くらうど / e.g. Gakunin
ご所属 / Affiliation*	<input type="text"/> 例) 国立情報学研究所 / e.g. National Institute of Informatics
メールアドレス / E-mail Address*	<input type="text"/> 半角のみ：所属機関ドメイン名のメールアドレス / The e-mail address of your institution domain name.
備考 / Remarks	<input type="text"/>

ご入力頂いた個人情報につきましては、SINETStreamに関する情報提供等、国立情報学研究所クラウド支援室が適切に管理・利用いたします。法令等により要求された場合を除き、本人の同意なく第三者に提供することはありません。同意される場合は、下部の「同意します」にチェックを入れて次へお進み下さい。

Regarding your personal information, the Cloud Support Office of the National Institute of Informatics properly manages and uses for the provision of SINETStream information. Except as required by law, we will not provide user information to third parties without your consent. If you agree, check "同意します / I agree" at the bottom and proceed to the next.

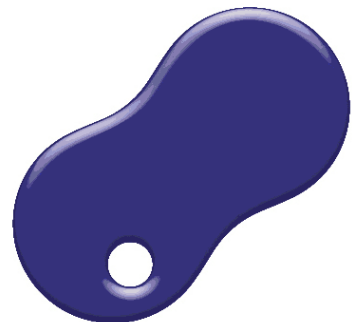
☐ 同意します / I agree

[次へ / NEXT](#)

https://reg.nii.ac.jp/m/ocs_user_registration

- ご登録頂ければ、OCSに関する各種情報（OCSハンズオンセミナー、ユーザズミーティング、など）をお送りさせていただきます！
- OCSの利用を検討中の状態でも登録頂けます！

各種お問い合わせは、
NIIクラウド支援室 [cld-office-
support@nii.ac.jp](mailto:cld-office-support@nii.ac.jp)
までお願いいたします！



大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構

国立情報学研究所

National Institute of Informatics